「名古屋工業大学 セラミックス基盤工学研究センター年報 論文投稿規則」

1. 投稿資格

投稿資格は、名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター職員または職員が共同執筆者であることを条件とする。ただし、編集委員会による原稿依頼の場合はこの限りではない。 論文は研究課題に関するものとする。

2. 報文の種類

報文の種類は、(1)学術論文(原著に限る。)、(2)解説論文、(3)総説論文、(4)技術報告とする。

3. 報文の構成

報文の構成等はそれぞれの分野の慣例に従うものとする。

4. 原稿の書き方

論文執筆要領については別に定める。

5. ページ数の制限

以下のページ数はすべて刷り上がりのものを示す。ただし、編集員会で認められた場合にはこの限りではない。

論 文 原則として 10 ページ以内

解 説 原則として 10 ページ以内

総 説 原則として 10ページ以内

6. 提出先

原稿の提出先は名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター編集委員会委員長とする。そこで受理した日を 原稿受付日とする。

7. 提出期限

毎年度1月31日とする。

8. 採否

投稿原稿はすべて名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター年報編集委員会で審議する。ただし、学術論文は、名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター年報編集委員会が委嘱する査読者2名の審査を受ける。査読者の意見に基づき、学術論文の採否を編集委員会で決定する。編集委員会における採択決定日を受理日とする。解説論文、総説論文、技術報告に関しては、編集委員会の校閲を受けた後、編集委員会で掲載決定する。編集委員会における採択決定日を受理日とする。

9. 原稿の責任と権利

掲載された論文等の内容についての責任は著者が負うものとする。また、その著者権は著者に属する。編集出版権 は名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センターに属する。

編集後記

本研究センターは岐阜県多治見市旭ヶ丘にあり、名古屋工業大学の多治見キャンパスと呼ばれています。A棟、B棟、作業棟、C棟の4棟が配置されていますが、2009年度に多治見キャンパスでは中核的なA棟の耐震補強工事が実施されるために、本年度末は、通常の年度末の多忙さに加えて、引っ越しの準備のために研究センター全体が大混乱の様相を示していました。それにも関わらず、この年報を出版するために多くの記事を寄稿していただいた著者のみなさんに感謝いたします。この年報に含まれている本研究センターで実施された最新の研究の成果や、本年度の研究教育活動および社会活動に関する資料を読者の皆様に活用していただければ幸いです。

昨年度からこの年報の出版費用を広告掲載費で充当させていただいております。2008年の国際的な金融不安から経済が不安定な情勢であるにも関わらず、多くの企業の皆さんに広告を掲載していただきました。広告掲載をしていただいた企業の皆さんに深く感謝いたします。

以前から年報のフォーマットを全体に統一することが課題となっていましたが、本年度は議論を充分に詰めることができず、このことに関しては来年度の年報以降で検討することとなりました。本年報の不具合な点など、編集委員会に率直な意見をお聞かせいただければ幸いです。

編集委員

石澤伸夫 太田敏孝 小澤正邦 藤 正督 井田 隆 安達信泰アドバイザリーボード (Advisory Board)

客員教授 山口幸男 (㈱) ノリタケボンデッドアブレーシブ)

プロジェクト教授 小林雄一 (愛知工業大学)

プロジェクト教授 加藤昌宏 (多治見市陶磁器意匠研究所)

Prof. Dr. Feng WANG

(Director of the Institute of Carbon Fibers and Composites Beijing University of Chemical Technology)

Dr. Kwang-Jin KIM

(Vice-president of Korea Institute of Ceramic Engineering Technology, KICET)

名古屋工業大学 セラミックス基盤工学研究センター年報 Vol.8

平成 21 年 3 月 31 日発行

責任編集者 井田 隆(名古屋工業大学セラミックス 基盤工学研究センター)

発行所 名古屋工業大学 セラミックス基盤工学研究センター 〒 507-0071 多治見市旭ヶ丘 10-6-29 電話 (0572) 27-6811 FAX (0572) 27-6812 URL http://www.crl.nitech.ac.jp/

印刷所 株式会社コームラ 〒 501-2517 岐阜市三輪ぷりんとぴあ3 電話 (058) 229-5858